



一般社団法人 士別青年会議所 会員紹介

理事長	富田 克彦	(有)富田調理部	会 員	片岡 貴弘	北星信用金庫
副理事長	松本 淳	大野土建(株)	会 員	佐野 貴敬	士別中央営業部
副理事長	福島 和秀	(協業)北部ガスセンター	会 員	鳴海 直樹	高橋建設(株)
専務理事	尾崎 文映	(有)學海堂書店	会 員	加藤 洋之	(株)カトウ
直前理事長			会 員	苔口 千笑	CUTIE BABY
兼 監 事	大橋 直幸	(株)なかむら	会 員	高山 良太	(株)士別グランドホテル
監 事	千葉 洋介	(有)千草生花店			
理 事	尾形 良喜	(有)かねしん尾形			
理 事	吉田 航	(株)北都新聞社			
理 事	萩尾 健児	日本郵便(株)士別郵便局			
理 事	新山 徳一	(協業)北部ガスセンター			
理 事	鈴木 春樹	鈴木建設(株)			
理 事	滝上 聡典	士別市役所			

新入会員紹介



氏 名 片岡 貴弘  
生年月日 昭和53年1月1日  
趣 味 食べ歩き



氏 名 苔口 千笑  
生年月日 昭和51年9月10日  
趣 味 DVD鑑賞、読書



氏 名 高山 良太  
生年月日 昭和60年2月5日  
趣 味 卓球

青年会議所(Junior Chamber)とは

青年会議所(略称JC)は、『奉仕』『修練』『友情』を活動の基本に置き、明るい豊かな社会づくりのため、まちづくりを初めとする様々な活動を行っている市民団体です。JCには、男女を問わず20歳から40歳までの、ひと・まち・地球・世界を愛し、活動できる人なら誰でも入会できます。

士別青年会議所では、この地域に必要なことやより良くなることを時には行政や民間団体と連携して実施し、魅力的なまちづくりを目指して活動しています。また、会員間の交流を深めるための事業や会員の自己修練となる機会も積極的に設けています。



《士別青年会議所では、会員を募集しています》  
今しかできない経験がたくさんあります。  
あたらしい自分を発見しませんか？

事務局 〒095-0022  
北海道士別市西2条5丁目  
士別商工会館  
TEL 0165-23-2144  
FAX 0165-23-1838

ウェブサイト  
http://www.shibetsu-jc.jp/  
E-mail info@shibetsu-jc.jp



2014年度 一般社団法人 士別青年会議所 スローガン  
解き放て！みなぎるパワー 笑顔で輝く未来の創造へ！



一般社団法人  
士別青年会議所  
第58代理事長  
富田克彦

2014年度も(一社)士別青年会議所の事業・例会の開催に際しましては、大変多くの皆様のご支援ご協力を賜りました事、会を代表し篤く感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

1月からスタートした2014年度も早いもので残り約4カ月の月日となりました。本年度は地域連携を主とした「輝く地域創造」と、地域の宝であります「子供達」のためにと「輝く人財育成」に向けて邁進をして参りました。「明るい豊かな社会」の実現を目指し、メンバーと一丸となって運動を展開出来ている事を大変うれしく思う次第でございます。

もし、我々メンバーが自分たちの成長、活躍のためにと運動をしていれば、58年の歴史から多くを学びとる事は出来なかつたに違いありません。多くの皆様の意識変革運動に携わることが出来たからこそ、現在があると感謝しております。

残り4カ月、年初に掲げた「解き放て！みなぎるパワー 笑顔で輝く未来の創造へ！！」の下、子供達が笑顔で迎えられる未来のために、より一層の青年としてのパワーを発揮していく所存でございます。

皆様方に於かれましては今後ともご理解とご協力、更にはなお一層のご指導とご鞭撻を賜ります事を切にお願い申し上げます。

## 士別市民栄誉賞2014 受賞者紹介

士別市立病院内視鏡センター長 佐藤貴幸さん

2000年から士別市立病院で働き始め、その後07年に内視鏡センターに異動、11年にセンター長に就任しました。地域医療にける佐藤さんの思いは強く、山田政孝院長の厚い信頼のもとその活動は士別から全国、世界へ。昨年には第70回日本消化器内視鏡技師学会で学会長賞を受賞し、士別市の職員表彰も受賞。また中国・大連の大学病院で現地スタッフの指導を行うなど、士別市が誇る医療の担い手です。

佐藤さんは「若者代表として、市立病院を引っ張っていきたい」と今後の意気込みを語っていました。

また今回初めて、同賞の表彰状を士別産サフォーク羊の「羊皮紙」を使って製作。サフォークランド士別をPRする新たな素材の活用により、今後も同賞の周知とまちの飛躍を目指します。

「士別市民栄誉賞」

様々な分野で積極果敢に活動する士別ゆかりの青年に贈るもので、2012年に創設。



## 例会・事業報告

### 第61回通常総会・新年交礼会

1月12日、士別グランドホテルにて実施しました。

第58代理事長に就任した富田克彦君は、新年冒頭の所信表明で「子供達が笑顔で迎えられる未来のために、今こそ英知、勇気、情熱を持ち合い、青年としてのパワーを発揮しなければならない」と力強く語り、メンバーの心を一つにまとめました。



### 2月例会「第59回しべつ雪まつりへの参画」

2月8、9日の2日間、市内のあすなろ公園にて開催されました。8日は「移動動物園」「馬そり」などを実施。この日は最低気温が-30度を下回る極寒でしたが、大勢の子どもたちが訪れ会場を盛り上げました。

翌9日には恒例の「第15回国際雪ハネ選手権」を開催。一般の部30チーム、女性の部9チームが参加し、地元チームはもちろん遠軽や紋別のチームも優勝目指して熱戦を繰り広げました。また今大会には、隣のLOMである(一社)名寄青年会議所のメンバーも参戦。木賀義友理事長をはじめ多くが来場し、士別の冬の祭典を楽しんでもらいました。



### 3月例会「輝くプレゼンテーション能力向上事業」

3月13日、士別市民文化センターにて実施しました。

メンバーの結束力と広報活動の能力向上を目的とした例会で、メンバーを4グループに分けて当青年会議所をPRする動画作成とそのプレゼンテーションを行い、出来栄を競い合いました。

完成したPR動画は、まだまだ荒削りながらそれぞれのグループの個性や才能がキラリと光る上々の出来で、手ごたえを感じる例会となりました。



### 4月例会「輝き続けるための情報発信講座」

4月15日、士別市民文化センターにて実施しました。

講師に「わっさむ情報文化発信企画」の佐藤伸二様、竹内正樹様、中野利樹様の3名を招き、リアルタイムでの動画配信、U-Streamの使い方や同団体の活動記録などを実演を交えて学びました。

まちづくりについて熱い議論を交わすこともでき、互いの連携も深まった実りある例会となりました。



### 5月例会「地域の魅力の創造と発信」

5月30日、士別市民文化センターにて行いました。

講師に、士別市と剣淵町の地域おこし協力隊、鯨井啓子様、高村匠子様、田中紘子様を招き、これまでの活動記録の紹介のほか外から見た士別地域の課題、魅力、展望などを語ってもらいました。

また、後半は3グループに分かれ、当青年会議所メンバーとともに地域が一体となった事業の計画について意見交換。それぞれが士別と剣淵の魅力を取り込んだ魅力ある事業を考案し、今後の活動の一助となる充実した時間を過ごしました。



### 6月例会「輝くスポーツ交流会」

6月29日、つくも青少年の家にて実施しました。各方面に参加を募り、各諸団体、個人から総勢約70人8チームが参加して盛大にミニバレーボール大会を開きました。

職種や年齢の垣根を越え、全チームがメンバー一丸となって熱戦を展開。スポーツの大きな魅力である団結力・コミュニケーション・対話を通して親睦を深め、仲間の輪が大きく広がったことを強く感じる大会となりました。

また、大会後の懇親会ではまちの未来について大いに語り、意義のある時間を過ごしました。



### 第62回通常総会・2014年度創立記念例会

7月27日、士別グランドホテルにて実施しました。

次年度の理事長予定者に福島和秀君が選出され、来年に向けての思いを新たにするとともに、今年度の残りを全力でまい進していくことを誓いました。創立記念例会では、参加していただいた多くの来賓の方々やシニアクラブ先輩諸兄から熱い叱咤激励を賜りました。



### 8月例会「第39回士別天塩川まつりへの参画」

8月17日、市内中心市街のグリーンベルトにて開催されました。

市内の子供たちが担ぐジュニア川舟みこしは22台が参加し、家族らの声援を受けて祭りを演出。また今回の川舟みこしでは、老朽化にともない引退した「名越丸」から熱き思いを受け継いだ2代目日本船「第二名越丸」が初出航しました。

担ぎ手には当青年会議所会員をはじめ市内外の若者が集い、みなぎるパワーで本船を持ち上げて祭りを盛り上げました。肩にかかる重みに祭りの歴史を感じながら、ふるさと士別への思いを新たに一夜でした。

